

不破八幡宮

Fuba Hachimangu



不破八幡宮は、一條教房公が、幡多の総鎮守として、また一條家守護神として山城国石清水八幡宮を勧請したものであり正八幡宮、広幡八幡宮といわれていました。四万十川を目の前にする丘の上に建てられています。

また本殿は、国の重要文化財に指定されています。平成27年から20年ぶりの保存修理工事を行い、平成29年7月末に完了しました。



不破八幡宮

高知県四万十市不破 1375-7 〒787-0017
電話：0880-35-2839

四万十川



四万十川は、高知県高岡郡津野町の不入山を源流とし、蛇行を繰り返しながら多くの支流が集まり、四万十市で太平洋に流れ込みます。全長196km、四国で一番長く、流域面積も吉野川に次ぎ第2位。柿田川(静岡県)・長良川(岐阜県・愛知県)・三重川(三重県)とともに「日本三大清流の一つ」と呼ばれています。「名水百選」、「日本の秘境100選」にも選ばれています。



四万十川 佐田沈下橋

支流も含めて47の沈下橋があり、その景観は四万十川の代名詞となっています。



発行 中村商工会議所

高知県四万十市中村小姓町46 〒787-0029
電話：0880-34-4333

こうちけんしまんとし
高知県四万十市

土佐の小京都 中村

Tosa no Shokuyo Nakamura

高知県四万十市中村は、1468年(応仁2年)に前関白、一條教房公が応仁の乱の混乱を避け、所領であった土佐国幡多荘に京都から下向してきて、鴨川、東山、大文字など京都になぞらえて町づくりをしたことがルーツです。

教房公とともに公家や武士、職人なども同行し、中村繁栄の基礎を築きました。

日本最後の清流といわれる「四万十川」の最下流部にあたる中村平野に位置しています。



香山寺より市街地を望む



大文字の送り火 (四万十市間崎)

土佐一條家行列「藤祭り」

神様の結婚式



かみさまのけっこんしき

〔不破八幡宮大祭神事〕
四万十市無形民俗文化財
〔不破八幡宮本殿〕
国指定重要文化財



不破八幡宮

秋季例大祭



神様の結婚式

不破八幡宮大祭（神様の結婚式）は一條教房公が始めたお祭りです。

京都から遠く離れた土佐の西南端に位置するこの幡多地区は、未開の土地までとはいえないまでも京都に比べ文化水準は大きく遅れていました。京都五摂家の一つである一條家の目から見れば一層その感を深くするものであったでしょう。

そこで、やぶさめ等の神事で勇武の指導をすると共に、当時盛んに行われた「嫁かつぎ」等の風習を矯正するため八幡宮と一宮神社結婚式を祭典神事に折り込んで行い、しかも、祭典費捻出のための課する物もその土地々々の産物を利用し、供給のものなども極めて簡素なものをもって質素倹約を旨とし毎年盛大に行われるようにし、こうして神事を通じて庶民大衆の生活指導を行ったものであるといわれています。



露店の風景



露店の風景



神輿巡幸



あげ馬・流鏝馬奉納



幡多神楽奉納



幡多神楽奉納

● 不破八幡宮の神様

不破八幡宮には三柱の神様が祀られています。

『品陀和気命』: 第15代天皇 応神天皇

『玉依姫命』: 海神の娘といわれている

『息長足姫命』: 神功皇后

● 神様の結婚式

神様の結婚式は、『品陀和気命』が、四万十川を挟んだ向かいに建つ一宮神社に祀られる女神三柱から「みくじ引神事」で一柱を選び、結婚式を行います。



とくますごぜん
徳益御前

平和と豊穡の女神。この神様がお嫁になった年は平和で天候に恵まれる。



ほこなごせん
銚名御前

気性が激しい喧嘩の女神。この神様がお嫁になった年のお祭りは必ず喧嘩になる。

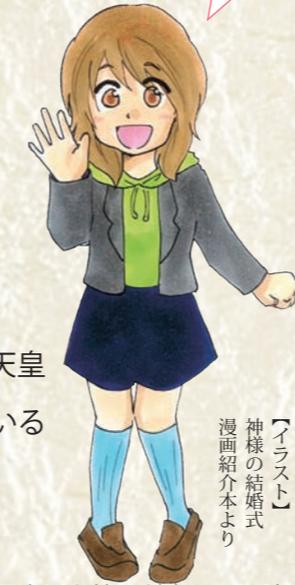


しいなごせん
椎名御前

雨を降らす女神。頭に小さな傷があり、それが恥ずかしくて雨を降らすらしい。



本祭典



「イラスト」
神様の結婚式
漫画紹介本より

お祭りは、毎年9月の「敬老の日」の前の土日に開催します！

不破八幡宮大祭の神事・行事

■ 8月上旬	場所
神輿洗い	四万十川
■ 前日	
結納の儀	(旧) 宮司宅
潮垢離	四万十川 (角崎地区)
公式祭	不破八幡宮
宵宮祭	不破八幡宮
宵宮祭	一宮神社
■ 当日	
神輿巡幸	市内巡幸
茄子取り (船戸上げ)	船着き場 (角崎地区)
御旅の祭典	須賀神社 (百笑地区)
高屋の祭典	不破八幡宮前
神輿合わせの儀式	不破八幡宮前
本祭典	不破八幡宮前



【一宮神社】

不破八幡宮の対岸、初崎地区の神社。結婚候補となる三女神を奉っている。全国でも数本しかない「銀象嵌七星剣」が伝わってる。



【神輿巡幸】

男神輿は当番制で、12地区が6組に分かれ、毎年交代で市街地を巡幸する。



【茄子取り (船戸上げ)】

花婿側が花嫁側に気に入ってもらおうと、二股のナスやお酒を振る舞う。花嫁側は簡単には受け取らず無理難題を投げかける。そのやり取りが面白く祭りの見世物になっている。



【高屋の祭典】

船戸上げの神事を済ませた花嫁の神輿を仮屋のごとき建物の下に据え、その前で三三九度の盃を行う神事。



【神輿洗い】

結婚式を前に、八月中旬の良き日に10数名の青年たちが神社前の四万十川で神輿を洗い清める。夏の風物詩の一つとなっている。



【宵宮祭】奉納相撲・幡多神楽

宵宮祭は不破八幡宮、一宮神社それぞれで同時刻に行われる。不破八幡宮では神事後、相撲や神楽が奉納され、一宮神社では「みくじ引神事」が行われる。



【神輿合わせの儀式】

花婿、花嫁の神輿を両社の氏子総代や地区長が持ち上げ、担ぎ棒をゴツン、ゴツン、ゴツンと三回突き合わせる。

不破八幡宮大祭は、近郊の地域と人々、そして清らかな四万十川があって成り立っています。このお祭りがこの先も続いていきますように、皆さまのお力で盛り上げていきましょう。